

踊る大漕査線 in 沖縄 2010

国体中国大会が終わった途端、今度は連日 35℃越えの猛暑が襲ってきた。毎年最高気温を出す岐阜の多治見では 39℃、40℃と聞くだけで汗が吹き出る数字を出し、1 週間で熱中症が原因と考えられる死者が 100 人を越えていた。天気予報の最高気温なんて日陰の百葉箱の中だ。照り返しの厳しいアスファルトの路面は 50℃にもなる。水上だって照り返しでドンだけ上がっていることか。そんな中、ボート部は必死に練習に励んだ。既に夏休みに入っているのにサマータイムスケジュールで 2 部練、もしくは午前モーションで午後はゆる体操やプールにも勤しんだ。

7 月 26 日には 21HOB 保護者が激励に旭川を訪問してくださった。先生は背中をまん丸くし哀愁オーラをバリバリに出していた。そして、「元気を下さい」とブログや掲示板にまで SOS を発しているように感じた。ただの冗談ならいいけど・・・。

7 月 28 日(水)いよいよ出発!!! と言っても先発隊・・・紺色のブレードでお馴染みのオール達が発送されたのだ。一言、オール諸君に言いたい。

「子供たちの腹を切るな! 目一杯水を掻いてくれ! どんな力にも折れるな!!!」^{ゆめゆめ} 努努、保護者の願いを裏切らないでおくれ～～。最近、光亦母が午前の練習を見に旭川によく訪れてくれている。理由は息子の後輩の勝利を願うのは勿論のこと

「沖縄行きで日程前後の仕事が休めない人も多いただろうから、代わりになればと。保護者の人数が少なかつたら寂しいジャン。」

OB 保護者も仕上がり気になって仕方が無い。他にもポロポロと姿を現し、こっそり橋の上から見人もいるらしい。皆、森川大明神のご利益を期待している。午前の部は対抗クルーで試合さながらの迫力で漕ぎ勝利のイメトレ。クォドとダブルが並べて競っている。シングルはサポート(高田)が張り付き新京橋下で休む暇なく往復を繰り返す。先生のスーパーメガフォンは休む間もなく炸裂している。お馴染み「アホ」「バカ」「カス」の連発と「準々決勝」を連呼していた。

8 月 1 日(日) 対校メンバー以外は芦田川レガッタに参加。息子は練習で親は広島へと、ねじれ現象が起こっていた。スーパーメガフォンは更にヒートアップし、子供たちの漕ぎも真剣身を帯びてきた。ガムシャラに力強く漕いでいる。母さん達は既に沖縄帰りか? とするほど日に焼けた顔になっていた。日曜日なので保護者の人数も膨れ上がり、ビデオ撮影する人も多く、おしゃべりも盛り上がった。森川先生は現在『幸夫ちゃん』と呼ばれていた。『将軍様』も庶民的になったようだ(?)。ちなみに去年は『幸夫』だったそうで・・・。

ラスト 2 日は長距離で総仕上げしようと百間川に場所を移した。百間川は灼熱地獄と化していた。気温と連動するようにボルテージが上がり、ついに先生もブチ切れてしまった。なので、岡山最後の練習は旭川に帰ってきた。数倍百間より涼しい気がする。この 2 週間現役保護者は勿論のこと OB 保護者も都合がつけば何度も顔を出して見守っていた。仕事前

に仕事後に時間を作っては通って来る親心。選抜・朝日と後一步の所で優勝を逃しているだけにインハイでは何とか勝たしてやりたい、勝って貰いたいと願う。正宗父が

「選抜、一瞬だったけど優勝したと思った瞬間、抱き合っただけで涙を流して喜んだ、あの何とも言えない保護者が1つになった感動をもう一度！」

と話す。それを聞いたOBは其々、自分達の国体を思い出すのだった。何物にも変えがたい感動と感激、その本物を沖縄で掴んで欲しい。

8月4日(水)7時30分テニスコート集合。今日も朝から惜しみなく太陽が照り付けてくる。駐車場には車が止められるのか？と思うほどで人の数も凄かった。H20の高木・池田、H21の前田も顔を出してくれていた。保護者の数も2年部員の保護者がたくさん来てくれたからだろう人だかりが一際大きくなっていて。簡単な挨拶の後、3年保護者の車を引き連れて岡山空港へ出発して行った。空港でも見送り部隊が待っていた。沢山の人の期待を背負ってヒコーキが飛び立っていった。

『めんそ〜れ！沖縄』灼熱の太陽と美ら海の国

飛行機は速く、あっという間に到着。快適レンタマイクロバスで大宜味村のポート会場に向かう。塩屋湾の側の小学校校庭をポート置き場に使っている。選手の控え室はブルーシートが敷かれた体育館。空港から早速、沖縄の名物を頬張りながらサトウキビ畑をのどかに進んでいった。配艇の終わった会場には全国の代表校のレンタカー・マイクロバスが停まっていた。東京から3泊4日、大阪から2泊3日かけてやって来たバスもある。今回の宿舎は恩納村で、那覇と大宜味村の中程に位置しているが、宿舎から塩屋湾まで1時間ほどかかると言う。島バナナとパイナップル畑、家々の屋根にはシーサーが乗っかっている。

5日は朝からホテルのプールに飛び込んでいた。リギング中、激しいスコールが襲ってくる。波はこの間の湖山の如く荒れたらしい。よし！経験がものを言うときだ！！今の関西に怖いものなど無い。

6日には保護者が広島空港から沖縄に向けて出発して行った。魔女は箒に乗って……。子供達は保護者にあだ名をつけて遊んでいた。いつも黒い服に黒い帽子を被っていたら浅野母は魔女にされていたそうだ。他にも色々本人が知らないところでつけられているらしいが触れないでおこう。親とは有り難いもので現地に着いて直ぐ観光には行かず、沖縄の神様にまずご挨拶をしに行った。波上宮(はじょうぐう・ナンミー)はエメラルドグリーンの海に突き出た岸壁の上に建っている。鳥居を潜り、狛犬はどことなくシーサーっぽい。朱塗りの社殿に手を合わせる。海辺と言う事もあり、出船は船上から安全を祈り、入船は航海無事の感謝を捧げる。沖縄の波を制すものが勝利を制す。ってか？安仁神社の宮司さんのお薦めで沖縄一の水の神様だそうです。

子供達は体育館の控え場所から移動していた。村議の方のご好意で選挙事務所の片隅を

冷蔵庫付きで間借りする事になった。甲子園でお馴染みこの春、関西と当たった興南高校、沖縄尚学の前監督は関西 OB。岡山の印象は好い様だ。色んな繋がりが色んな出会いをさせてくれ追い風を吹かせてくれる。

8月7日(土)決戦の火蓋が切って落とされる。天気はどんよりと雲が空を覆う。スコールが時々激しく海に叩きつけカメラのレンズを濡らす。塩屋湾の防災カメラの画面も暗く、選手は豆粒でピントも合っていない。まあ、中継している訳じゃないから致し方ないけど。

11 : 30

23 レース・男子シングルスカル 予選 3組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	岡山県	関西高校 井上	02:43:42	03:40:16
2	三重県	津高校 森下	02:43:83	03:41:67
3	大分県	日田三隈高校 池永	02:44:21	03:53:48
4	東京都	早稲田実業学校 小林	02:44:59	04:03:68
5	和歌山県	田辺高校 西川	02:44:97	04:19:76

今日、3度目のスコールの中、見事1位通過を決めてくれた。

13 : 08

31 レース・男子ダブルスカル 予選 5組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	岡山県	関西高校	01:39:87	03:20:38
2	愛知県	旭丘高校	01:42:81	03:24:17
3	大分県	日田高校	01:48:24	03:31:25
4	青森県	青森西高校	01:53:27	03:41:38
5	茨城県	潮来高校	02:02:52	03:45:39

凄い！ブッチギリレースや！この調子で突き進め！

沖縄のスコールは漫画である。黒い雲の下に雨のカーテンをしたがえてやって来るのが見える。

「来るぞ。来るぞ。荷物をテントの下に避難しよう。」

ポツポツと顔に雨が当りだしたと思えば、ザ————ッ！と激しく降り注ぎ、暫くすると小降りになり虹と共に熱い太陽が顔を出す。これを何度となく繰り返しながらの応援をす

る。スコールを避ける様に岸蹴りを遅らすクルーもあり

「校歌はエエから、はようスタート地点に上がれ。」

と心配する一幕もあった。校歌の歌声は全然聞こえない。上を向いて口をパクパクしているのが確認できると歌つとるんじゃないかと分かるくらい。雨具の用意もバッチリ、足元は色とりどり、型とりどりのクロックスのサンダル履き。示し合わせたように皆用意していた。

そうそう、今回のインターハイは会場もほんわか、沖縄独特の雰囲気にもまれていた。受付でおばちゃんが渡してくれたパンフレットは藁半紙に予定が書かれホッチキスで留めた簡単なもの。いつもの1000円で購入する立派なものは見かけない。監督・選手は持っているだろう、「〇ページをご覧ください。」とアナウンスが入って来る。そんなページは藁半紙には無い。そして、いつも会場が一番目立っているアレが無い。そう、コカ・コーラ！のぼりとドリンクコーナーが無いのだ。それが一気に長閑な風景に見せてくれているのだ。

波は絶えず審判艇が通った後と言ったほどのものが打ち寄せてくる。残るはクオド！！

14 : 46

39 レース・男子舵手付きクオドルプル 予選7組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	岡山県	関西高校	01:34:75	03:12:85
2	熊本県	熊本学園大学付属高校	01:37:32	03:19:47
3	長野県	諏訪清陵高校	01:39:43	03:24:38
4	栃木県	佐野高校	01:55:62	03:51:52

タイムを見ての通り！母の魔法に掛かって絶好調で予選通過。トップタイムとは行かなかったが2番目だ。

保護者の夕飯は沖縄名物ソーキそば。他の沖縄料理に比べあっさりした味付けで豚の角煮が2,3切れ乗ったもの。さあ、明日はOFFだ。何して遊ぼう？

8月8日(日)応援団はグループに分かれて観光に繰り出す。ビーチ隊はプライベートビーチで海に潜って遊んで、バナナボートでスリルと沖縄の風を堪能する。その後、パイナップル農園に出かけパイナップルの食べ放題。これは後がっらい・・・口の中がイガイガし始める。シュノーケル隊は青の洞窟へ熱帯魚との戯れに興じる。日焼けもシミもなんのその！お姉さんパワー爆発！もう、インハイ応援のノリとは違って来る。弟・妹を連れた夏休み家族旅行だ。そして、美ら海水族館でジンヘエザメを仰ぎ見て、ガラス越しに食用に成りうるエビや魚に喉を鳴らした。

さて、部員たちは、前日配艇の為、10 時頃会場でリギングした後、観光に繰り出す。先ずはサトウキビ畑をザワワしていた。掲示板に写る親弟妹のはしゃぎっぷりに

「こうやって美味しいものを食べたり遊んだりできるのも全部俺のおかげじゃな」(佐藤)

「何してるんですか！全種目 1 位で上がった俺らのおかげじゃから忘れんなよー！」(岸本)とコメントを載せた。美ら海水族館で大はしゃぎした後、名護パイナップルパークで係りのおばちゃんが困ってしまうほど食べ続けた。1 日 6 合ご飯を食うヤツらだもん、はっきり言って予想外。人間バキュームを見るようだったのでは？

今日は松島の誕生日。パチパチ・・・高校 3 年の 18 歳の誕生日を関西のボート部員として、インハイの行われている沖縄で迎えるなんて、中々印象的じゃないですか？一生の思い出になる事間違いなしや！

台風です！本日中止です！

8 月 9 日(月)朝の第一報は五時半「本日台風の為試合中止。午後 3 時までには今後の予定などの発表をするので注意しておいて下さい。」との事だ。岡山にも 7 時過ぎにメールが届いた。天気予報は明日も雨、高波注意・・・。先生も選手も親も「またか・・・」とは思いつつながら心配はつるばかり。8 日 22 時過ぎ台風 4 号(ディアンムー)が宮古島の南 20 km で発生し北に向けて進んでいた。7 時には宮古島東北東 50 km 990hPa 風速 18m。しかし、時間が経つにつれ風速は速くなっていく。最大 30m にもなった。艇はリガーを外され体育館へ避難する。現地からの情報では「雨はポツポツだけど風が強くて、とてもじゃないけど艇が出せる状態じゃないよ。」「ホテルの窓を開けるにも風圧で凄いい力いるし。」

11 時半に明日の変更された組み合わせが発表された。準々決勝は無くなり敗者復活したはずのチームは消え、予選 2 位上りのチームのみで準決勝を行うと言う。予選 3 位のチームはつらい思いをしているに違いない。状況によっては、また変更が行われるかもしれない。全種目 1 位通過した事が今は力強い心の支えになっている。

で、皆どうしているのかと気になっていたが、保護者はガイドブックを見ながら、パワースポットを探し、神頼みに走ろうとしたが午前中は風が強くて外には出られず、3 時過ぎ収まってきたようなので出かける仕度を始めた。二手に分かれて滝にマイナスイオンパワーを充電しに(雨の後で濁っていたけど)、ご神木にパワーを貰いと少しでも不安を消し去りたかった。「まともに漕がしてやりたい。」「1000mを漕ぎきって欲しい。」今年の自然との戦いを象徴するような願いだ。

この日、応援団に新メンバーが加わった。家近君が飛んで来てくれたのだ。力強い COX の登場に元気付けられた。

子供たちもホテルにいてはテンションも下がってしまうから、こっそりと出かけていた。北谷町の『美浜・アメリカンビレッジ』・・・直訳でアメリカ村、沖縄は米軍基地の町だから

ら？嘉手納基地は直ぐ近くにある。ジャスコに飲食店・アミューズメントがある海沿いの施設。スタバ周りは、やはり米軍もたむろしているらしい。

ここで、お世話になっているボランティアの方々も紹介しておこう。地域の皆さんはもとより辺土名高校の生徒が多いみたいだ。沖縄最北端の県立高校で『へんとな』と読みます。プレゼントされた『島ぞうり』は生徒さんが作成したものです。教室で黙々と組み立てている姿は、さながら内職に勤しんでいるかのようです。そして、この天候で沖縄のシャーマン『ユタ』まで登場したらしい。

8月10日(火)台風は徐々に遠ざかっていったものの、風と波は残っていた。白波が立ち、時折突風が吹く中、試合は始まった。

9 : 58

93 レース・男子舵手付きクォドルプル 準決勝2組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	岡山県	関西高校	01:34:17	03:12:08
2	静岡県	浜松北高校	01:36:19	03:14:79
3	石川県	小松高校	01:38:75	03:18:69
4	山梨県	富士河口湖高校	01:40:35	03:20:09
5	山口県	西市高校	01:41:53	03:24:81

応援団の目の前でスパートをかけ、グングンとスピードを上げて行った。

10 : 56

96 レース・男子シングルスカル 準決勝3組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	千葉県	佐原高校 塚口	01:44:52	03:33:22
2	広島県	銀河学院高校 片岡	01:46:45	03:38:94
3	三重県	津高校 森下	01:48:67	03:40:25
4	岡山県	関西高校 井上	01:50:66	03:44:77
5	長崎県	佐世保高専 遠山	01:51:84	03:49:21

叫びながら走る母の声に懸命に漕いだが……。佐原の塚口君はこの後、優勝する。井上はここで敗退となるが、このインハイで何か掴んだようで、国体のシート争いに名乗りをあげる事になった。おっ！楽しみジャン！

11 : 28

100 レース・男子ダブルスカル 準決勝 3組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	熊本県	熊本学園大学付属高校	01:38:97	03:21:21
2	岡山県	関西高校	01:40:70	03:21:26
3	京都府	東舞鶴高校	01:41:29	03:26:31
4	北海道	石狩翔陽高校	01:43:61	03:28:18

何と！0.05 差とは！！ゴール手前の痛恨の腹切りがなければ・・・。レース後半のラストスパートは応援団を歓喜させ、興奮させ、結果判定にドキドキした。悔しい惜しい！！あまりの悔しさを水面にぶつけた。

13 : 54

109 レース・男子ダブルスカル 順位決定戦 0組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	福島県	会津高校	01:38:64	03:19:38
2	岡山県	関西高校	01:40:87	03:21:70
3	静岡県	沼津東高校	01:40:31	03:24:64
4	佐賀県	唐津西高校	01:41:31	03:24:82

むう・・・6位入賞。やはり出遅れ、それでも沼津東を抜いてゴール！後半の凄まじさはいかばかりだろうか。必死の追い上げが目に浮かんでくる。しかし、会津とは意外だった。予選で唐津西に負けていたのに、やっぱり高校生のやる事は分からないものだ。気持ちだけで伸びていくのだから。

14 : 58

117 レース・男子舵手付きクォドルプル 決勝 0組				
順位	地域	クルー	500m	1000m
1	岡山県	関西高校	01:33:68	03:10:28
2	愛媛県	今治西高校	01:34:69	03:13:12
3	島根県	江津工業高校	01:36:47	03:13:94
4	千葉県	小見川高校	01:43:52	03:42:01

勝った、勝った！勝った！！もう何も言う事は無い。勝ったのだから！チームの癌が誰だろうが、小見川が腹切ってオールが折れていたとか、もうどうでも良い！

森川先生は塩屋湾に胴上げの後「ブチ込まれ」浅野保護者会長も「放り込まれ」正宗応援団長も「投げ込まれ」た。更に家近も「ブッ飛んだ」。こうして、熱い熱い夏が終わった。関西ロースーを着ての最後の試合は『優勝』で締め括られた。インハイ前の絶不調から見事に復活した関西クルー！ 森川マジック恐るべし！！

旭川で約束したお土産を今、私は受け取った。泣きながら「勝った」と叫びあう保護者の声と共に。選抜から苦しめられた目の上のたんこぶ『準』が台風と一緒に飛んでいったのだ。

多くの関西ボート関係者からお祝いのメッセージが殺到した。夕方の OHK『美ら島沖縄高校総体』特集で、岡山で今年初めて団体が優勝を決めたと放送され、森川先生がメガフォンで『神の声』を届ける姿とレース模様、ゴールの瞬間、最後に浅野キャプテンのインタビューが入り、クオドクルー全員で

「それは・・・関西ですから！」

と叫んだ。先生の頭痛特効薬コメカミバンソウコウとクオドクルーの後ろでサポートしていた井上の赤い T シャツと笑顔に目が行ってしまった。

夕食は勿論打ち上げとなった。子供達はホテルのプールサイドで、沖縄の楽器、サンシンを伴奏に知っている沖縄ソングを歌い、優勝杯にお茶やジュースをそそぎ回し飲みし、勢いで三人がプールに飛び込んだ。携帯をポケットにいれたままだったので大騒ぎになった末、高田の携帯だけが機能せず、掲示板への投稿は高嶋の携帯を借りなければならなくなった。先生はオリオンビールを頭から被りながら飲み上げた。一方、保護者も家近を交えて最後の沖縄の夜を楽しんだ。勝利の興奮で今夜は皆眠れぬ夜を過ごすのだろう。台風のせいで予定変更もあり精神的に疲れているはずなのに勝利の美酒はそんなことなど忘れさせてくれるのだ。今はただ感動と感激に酔えるだけ酔えば良い。明日になれば、もう次に進んで行かなくてはならないのだから。

眠たい目をこすりながら、沖縄を離れる日。16時25分の飛行機まで那覇で自由行動。先生は国際通りでステーキに喰らいつく。保護者は2時間ばかり早い広島便に乗るので昼食を食べて帰るだけになる。昼食は「伊勢海老のユニソース焼き」・・・ぐつつ！情報提供していても、私は食べた事無いんだぞ！エエなあ～

さて、岡山空港にはお留守番の部員と保護者が出迎えようと待っていた。A4の紙を繋げたお祝いの横断幕を掲げ荷物を受け取り出てくるのを今か今かとドア越しに見つめていた。

2年保護者が

「顔が変わっとる。」

驚くように呟いた。これからも引き締まった良い顔に国体まで変化していくのが楽しみだ。大きな荷物を抱え出てくると、一斉に

「おめでとう！！」

と声上がり、拍手が沸き起こる。先生・浅野キャプテン・岸本が、報告と感謝を伝え最後に佐藤が一言。そして、広島空港から車を飛ばしてきた浅野父(魔王)がお祝いを述べた。取ってきた優勝旗・優勝杯を見せてもらおうと、既に仮のリボンが付けてあり、しっかりと5名の名前が書かれていた。保護者が替わるがわる手には写真は撮ったり、撫で回す。後輩たちはどんな思いでそれを見ていたのだろうか。

おめでとう！！チーム関西バンザイ！！

関西2年ぶりV かし付き4人スカル 高校総体

全国高校総体（インターハイ）第14日は10日、沖縄県各地で8競技を行い、岡山勢はボート男子かし付き4人スカルの関西（正宗、佐藤、浅野、角南、山地）が3分10秒28で2年ぶりに優勝、ダブルスカルも岸本宗也・高嶋大貴（関西）が6位入賞した。（中略）



2年ぶりの優勝を決め、喜びを爆発させる関西のメンバー（手前）＝塩屋湾特設ボート場

待望の今季初タイトル 圧勝に歓喜

関西が待望の今季初タイトルをつかんだ。3月の全国選抜、5月の朝日レガッタともに小差で2位に甘んじたボート男子かし付き4人スカルで、2位を3秒も引き離し圧勝。雪辱を果たした選手の目に、うれし涙があふれた。

「前半で勝負を決める」（佐藤）と課題だったスタートから攻めた。ラストスパートのような猛烈な勢いで序盤から飛び出す。リードを奪ってもスピードを緩めず、そのまま他艇を離してゴールした。「これまでで一番の出来」とコックス正宗が自賛する内容だった。

全国選抜は1位とわずか0秒07差、朝日レガッタは1秒差でともに準優勝。一昨年の全国4冠、昨年の3冠の輝かしい実績が重圧としてのしかかり「本当に苦しかった」と主将の浅野は言う。大会直前の強化合宿でも調子が上がらず、両大会の銀メダルを森川監督は没収。精神的に追い込まれる中、選手が土壇場で持てる力を爆発させ、この日の快勝につなげた。

次の目標は7連覇が懸かる国体。集大成となるレースに向け「連覇を伸ばし、後輩にバトンを渡したい」と浅野は力を込める。息を吹き返した王者の勢いは止まりそうにない。

(2010年8月11日掲載)

写真提供：森川先生

Written by 紫 香部